



長崎大学熱帯医学研究所 市民公開特別講座

地震・津波と感染症

3月11日の東日本大地震津波により、2万人以上の死者・行方不明者が生じ、15万人が避難生活を強いられています。被災者たちを感染症から守り、崩壊した地域保健を再生させるには、どうすれば良いのか？

震災直後から被災地宮城県南三陸町において医療活動に従事してきた医師が報告します。



日時：平成 **23** 年 **5** 月 **20** 日(金)
午後 7 時 00 分～午後 8 時 30 分

会場：長崎市立図書館 新興善メモリアルホール
(〒850-0032 長崎市興善町 1-1)



講師：鈴木基 (すずき もと)

長崎大学熱帯医学研究所 臨床研究分野 助教
東北大学医学部卒
ロンドン大学衛生熱帯医学学校修士課程修了

専門は感染症疫学、国際保健。震災直後より「国境なき医師団」の一員として医療援助活動を行い、現在は東北大学と共同で、宮城県内避難所における感染症調査と地域保健再生プロジェクトに従事中。

お問い合わせ：長崎大学熱帯医学研究所 095-819-7813